

・この調書を一番上にして、その後ろに証明書類をつけてください。
 ・左上1か所をホチキスで綴じてください。
 ・必ず裏面の「教職経験調書作成上の注意事項」を参照してください。

教 職 経 験 調 書

受験区分コード

受験区分名 _____ 職員コード _____ 氏名 _____

※ 講師等特例の場合はA・Bの別も記入

1 志願する教職経験者特例を下の**ア～オ**から選んで記入してください。

・**ア～ウ**に該当する者は、下の『2』のみ記入する。
 ・**エ**に該当する者は、下の『3』のみ記入する。
 ・**オ**に該当する者は、以下に記入しない。

ア 他県等現職特例	イ 元教諭特例	ウ 本県現職実習助手等特例
エ 講師等特例A・B、小学校特例	オ 特別臨時的任用講師特例	

2 正規の教諭・養護教諭・実習助手・寄宿舎指導員としての勤務状況を全て記入し、特例要件を示す**必要最小限の証明書類**（職歴証明書又は辞令の写し）を添付する。証明書類を添付したものは(例)のように『(証明書類あり)』と記入する。

(例) 令和3年4月～令和5年3月 ○○県○○市立○○小学校教諭 (証明書類あり)	
休職・育休等の期間	休職・育休等の期間を引いた実務経験の合計 ()年()月

3 令和2年度から令和5年度（辞令の発令期間、予定を含む。）までの勤務実績を全て記入し、特例要件を示す**必要最小限**の証明書類（講師等特例A：令和4年度又は令和5年度勤務実績*と過去3年度の必要通算勤務月数の2つ、講師等特例B・小学校特例：令和5年度（4年度実施）の第2次選考の受験（小学校特例は第1次選考の受験も併せて）と、令和5年5月1日現在の勤務実績*の2つの要件を証明する書類。）を添付する。証明書類については、裏面の「教職経験調書作成上の注意事項」を必ず参照すること。

※令和4年度以降の勤務実績は、1週間当たりの勤務時間が20時間以上(又は週12単位時間以上)であること。

勤務年度	学校名（職名）	勤務期間	週時数 〔会計年度任用職員（非常勤）・育短 任期付職員のみ記載〕	勤務月数		証明書類 添付あり○ 添付なし×
				臨任 育休任期付 配偶者同行	非常勤・会計年度任用職員・育短 任期付職員	
例	△△町立○○中学校（会計年度任用職員）	R3.4.1～R4.2.28	12単※		11	×
	△△市立○○小学校（臨任講師）	R4.4.1～R5.3.31		12		○
5年度	-----	-----				
4年度	-----	-----				
3年度	-----	-----				
2年度	-----	-----				
				合計月数		

※1週間当たりの勤務時間は、「時間」のみ記入し、「分」は割愛する。辞令が授業1単位時間の場合は、数字の後に「単」と記入すること。

